2022 年 8 月 26 日
全本学生テニス連盟
理事長　平出 匠史

今回のインカレにおいて、定められたエントリー締切日にエントリーが間に合わなかった事例が 1 校ありました。エントリー方法については従来から「全日学連が各地域枠数を決定し、各地域学連が地域選手権大会などを経てその枠数の選手を選抜し、参加者（参加校）へ連絡をしてエントリー手続きを取って貰う」方式としていましたが、今回、情報共有が上手くいかなかったことから、そのような結果となったと思われます。今事態の発生に対し、全日学連では理事会を開き対処方針を検討した結果、エントリー方法・時期について要項、HP に明記していなかった事、またエントリーミスによって、選抜された当該大学の全選手が参加できない事となる状況を勘案して、特例として「ペナルティを課した上でエントリー」を認めました。

本来、締切りを過ぎてのエントリーは受付けられないものであり、今後かかる事態の再発を防ぐために、全日本学連主催の大会について、以下の通りの対応とし、円滑な大会運営を図りますので、ご理解頂くと共に各学校内での情報共有につきご協力を宜しくお願い致します。

- エントリー方法に関する詳細（日程、エントリー方法）を大会要項に明記し、HP に掲載する
- 各地域学連と参加校、参加選手との情報共有方法を再確認し徹底する
- 締切りを過ぎてのエントリーは認めない。

以上